



山崎巖《峰の神 旅立ちたまふ雲ならむ 水原秋桜子》手描き友禅 1996



峰の神
旅立ち
たまふ
雲ならむ

やまざきがん
山崎巖
『友禅の
俳句美術館
1996
2001
』展

2020年

10月2日[金]~11月30日[月]

■前期■ 10/2 [金]- 10/26 [月]

■後期■ 10/29 [木]- 11/30 [月]

※前期・後期で展示作品の入替を行います
(リピーター割引あり)

星と森の詩美術館

〒948-0101 新潟県十日町市稲葉1099-1
TEL 025-752-7202 FAX 025-752-7203
<http://www.hoshi-uta-m.jp>



山崎巖《きませきみ いが栗落ちしみちよけて 良寛》手描き友禪 1996

きませきみ
いが栗落ちし
しみちよけて

加賀友禪を学んだ手描き友禪作家 山崎巖 (1938-2015) が、きものとは別に“友禪絵師”として制作を続けていたのが、俳句の世界を描く「俳句美術館」です。山崎自身30歳頃から俳句に親しみ、1994・95年には新潟日報俳壇賞を連続受賞するほどの腕前でした。題材とする俳句を毛筆で書き、それぞれの句の世界を広げるエピソードや、時にはユーモラスな創作話なども織り交ぜた文章、その挿絵として描かれた染め絵は共に新潟日報や十日町新聞などに連載され、好評を博しました。

没後5年となる本年、新潟日報夕刊に連載された「友禪の俳句美術館」56点 (1996-97)、十日町新聞連載の「妻有俳人の鎮魂歌」25点 (1998-99)、及び『NHK俳壇』の挿絵12点 (2001) など、山崎巖入魂の「友禪の俳句美術館」の全容を前期・後期に分けて展覽いたします。



山崎巖《生き馬の身を大根でうづめけり 川端茅舎》手描き友禪 1996

生き馬の身を
大根でうづめけり



山崎巖《金色の月にわらべが軍唄 小川真萩》手描き友禪 1998

山崎 巖 (やまざき・がん)

- 1938 東京都渋谷区に生まれる 本名：巖 (いわお)
- 1945 母の郷里 貝野村 (現 十日町市) に疎開
- 1960 武蔵野美術学校 (現 武蔵野美術大学) 卒業
この頃、仲間と共に現代美術の会「朔風会」結成 (～'67頃まで活動)
- 1962 江戸屋織物(株) (現 株エドヤ) 入社 ('76 退社)
- 1965 星襄一の木版による手摺り塩瀬帯の製作に、責任者として携わる
- 1967 この頃、由水十九の工房で加賀友禪の技術を学ぶ/俳句を始める
- 1976 手描友禪工房「きものふじ山崎」設立
- 1992 色紙による作品集『山崎巖の俳句美術館』を自費出版
- 1994 第91回新潟日報俳壇賞受賞 '95 第92回も受賞
- 1996 新潟日報夕刊に「友禪の俳句美術館」連載 (～'97)
- 1997 作品集『友禪の俳句美術館』出版 (新潟日報事業社刊)
- 1998 十日町新聞に「妻有俳人の鎮魂歌」連載 (～'99)
個展開催 (星と森の詩美術館) 2000も開催
- 2000 作品集『金色の雪 -妻有俳人の鎮魂歌-』を自費出版
- 2001 月刊『NHK俳壇』に染め絵作品連載 (～'02)
- 2015 逝去 満76歳

星と森の詩美術館

〒948-0101新潟県十日町市稲葉1099-1 TEL 025-752-7202
http://www.hoshi-uta-m.jp FAX 025-752-7203

■開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで) ■休館日 火曜日、10/28[水]、11/4[水] ※11/3[火・祝]は開館

■入館料 一般500円 (450円)、小・中学生200円 (150円) ※ () 内は20名以上の団体料金、リピーター割引料金

[交通アクセス] ◆ JR飯山線・ほくほく線「十日町駅」より車で 10分

- 関越自動車道「越後川口IC」より R117経由 25分
- 関越自動車道「六日町IC」より R253経由 35分
- 北陸自動車道「柏崎IC」より R252経由 50分
- 北陸自動車道「上越IC」より R253経由 70分



至十日町IC 至十日町市 至R117 至R117

2020年
10月2日[金]～11月30日[月]
■前期 10/2[金] - 10/26[月]
■後期 10/29[木] - 11/30[月]
※前期・後期で展示作品の入替を行います
(リピーター割引あり)